

分野	科目名	配当年次	開講期
専門分野	母性看護学方法論Ⅱ	2年次	後期
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無
1 単位 (30 時間)	分娩期 10 時間 産褥期 10 時間 新生児期 10 時間	助産師 大島ゆかり 大島ゆかり	有 有 有
授業の概要	1) 分娩期にある対象の身体的・心理的特徴を理解し、持てる力を引き出しながら、安全で安楽な出産に繋げるための看護を学ぶ。 2) 産褥期・新生児期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、母子が健康的に過ごすための看護を学ぶ。		
到達目標	<分娩期> 1) 分娩のメカニズムが理解できる。 2) 産婦の身体的・心理的特徴を踏まえた看護が理解できる。 3) 分娩期に起こりやすい異常と看護が理解できる。 <産褥期> 1) 産褥の身体的変化が理解できる。 2) 褒婦の心理的・社会的特徴を踏まえた看護が理解できる。 3) 産褥期に起こりやすい異常と看護が理解できる。 <新生児期> 1) 新生児の胎外生活の適応過程と生理的特徴が理解できる。 2) 新生児の特徴を踏まえた看護が理解できる。		
授業計画	No.授業内容	授業方法	備考
	1 分娩のメカニズム	講義	助産師
	2 胎児の健康状態	〃	
	3 産婦の身体的・心理的・社会的特徴	〃	
	4 分娩期に起こりやすい異常と看護	〃	
	5 安全・安楽な分娩に向けた分娩期の看護と持てる力を引き出す援助	DVD・講義	
	6 産褥の身体的変化①退行性変化	講義	大島
	7 産褥の身体的変化②進行性変化	〃	
	8 褒婦の心理的・社会的特徴	〃	
	9 産褥期のアセスメントと看護	GW	
	10 産褥期に起こりやすい異常と看護	〃	
	11 新生児の出生直後～胎外生活への適応過程	講義	
	12 移行期以降の生理的特徴①摂取～自己化	〃	
	13 移行期以降の生理的特徴②排出	〃	
	14 新生児の看護①出生直後の看護	GW	
	15 新生児の看護②移行期以降の看護	〃	
評価	筆記試験 100 点 分娩期 (30 点)・産褥期 (35 点)・新生児期 (35 点)		
参考文献	1) 石村由利子. 根拠と事故防止から見た母性看護技術. 第3版. 医学書院. 2020. 2) 平澤美恵子. 写真でわかる助産技術. アーバン・インターメディア. 2016. 3) 太田操. ウルネス看護診断にもとづく母性看護過程. 第4版. 医歯薬出版株式会社. 2024.		
備考			